

札幌大谷大学同窓会

OTANI 真心会

同窓会だより

第48号 令和6年10月1日発行

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

ootanisinsinkai@gmail.com

同窓会設立60周年記念祝賀会

令和5年8月11日(金・祝)

ホテル札幌ガーデンパレス





札幌大谷大学 学長 千葉 潤

日頃より、本学の教育研究活動に對しまして、同窓生の皆さまから厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

二〇二四年度は、七年に一度の外部認証評価を受審するにあたり、これまで積み重ねてきた内部質保証活動および自己点検評価活動の成果を「自己点検評価書」に取りまとめました。「内部質保証」とは、本学の教育・研究活動について大学が自ら方針や計画を定め、適正な運用が行われているかについて定期的に点検と改善を行い、外部に情報公表していく活動であり、これが今回の外部評価の重要な審査基準となっています。私が学長に就任した二〇二一年以降、作業を急ピッチで進めてきましたが、二三年度にやっと調査と改善の最初のサイクルを完了し、点検結果の分析に基づいて改善につなげているところです。

今年度の入学者については、残念ながら美術学科を除く三学科が、いずれも入学定員を満たすことができません



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美
(音楽科14期)

今年も大変な暑さが続きましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年八月十一日に開催しました同窓会設立六十周年記念祝賀会では短大一期から大学十二期の卒業生、現職の先生、退職された先生と多くの皆様にご出席いただき、とても楽しく和やかな時間を過ごす事ができました。

実行委員会が立ち上がった頃はまだコロナの不安が拭えない状況でしたが、年が明け、五類に移行したことで、ずいぶんと気持ちが軽くなり、実行委員の皆様とあれこれアイデアを出しながら着々と準備を進めました。

当日は再会を喜ぶシーンや先生方に近況報告する姿があちらこちらで見られ、社会学部も加わった今回の記念祝賀会が大変貴重なものになりました事をあらためましてご報告申し上げます。

昨年は同窓会設立六十周年記念行事の一環として、六月に谷の会展、十一月に谷の音会コンサートが開催され、イベントの多い一年になりました。

特にコロナで延期が続き、六年ぶりに行われました谷の会展では会場に並んだ力作の数々を多くの方にご覧いただき（昨年の同窓会だよりに掲載）、谷の音会コンサートも満席のお客様をお迎えして華やかに盛会に終了しました。

来年二〇二五年八月十日（日）に第二回ホームカミングデイを行います。第一回開催後、コロナで見合わせておりましたが六年ぶりの開催となります。是非今からご予定に入れていただきますようお願い申し上げます。

来秋、第四十五回谷の音会コンサートを開催の予定です。音楽科、音楽学科卒業生の皆様には詳細が決まり次第ご連絡いたします。

社会情勢が刻々と変化し、私達も時の流れと共に置かれる環境、状況が変わります。さまざまな世代が集う同窓会に今後さらに若い新しい風が吹き込むことを切に願っております。



芸術学部学部長
美術学科学科長

鳥宮 尚道

同窓会の皆様には、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度、美術学科では専任教員として新たに玉野哲也先生、吉岡滋人先生、山本武先生をお迎えし、教育の質をさらに向上させております。また、生成AIを用いた表現活用にも取り組むなど、札幌大谷美術は多様な専門分野における学びの場として、一層充実したものになることを確信しております。

この一年は、企業や自治体などの外部から多くのご依頼をいただく機会が増えてまいりました。美術を学ぶ学生たちが、地域や社会と連携しながら自らの技量を発揮する場を提供いただけることは、学生にとって貴重な学びの機会であり、その成長を促進する大きな助けとなっております。こうした取り組みが可能となっているのも、多くの卒業生の皆様が様々な分野でご活躍されているおかげであり、改めて感謝申し上げます。

これらの活動に関する詳細につい



では、今後大学の公式ウェブサイトやSNSなどで随時ご報告させていただきます。ぜひご覧いただき、引き続きご支援・ご指導賜りますようお願い申し上げます。

札幌大谷美術は、これからも新しい社会を創り上げ、様々な分野で活躍することのできるクリエイターを育成する教育に邁進してまいります。皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



芸術学部
音楽学科学科長

萬 司

この四月より学科長を拝命いたしました萬 司（よろず・つかさ）と申します。担当科目は、音楽教育法や全学科共通の教育実習指導などの教職課程を担当しております。同窓会の皆さまには、なにかとお世話になるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、日常的に報道される少子化問題ですが、高校生の減少は本学にも例外なく影響を与え、音楽大学で学ぶ目的や内容も多様化しています。これを踏まえ、北海道・札幌における音楽大学としての本学の使命を再確認し、未来指向の音楽の学びを提供したいと考えています。具体的には、これまでのピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲などの専門的学びから、PCやインターネットをフィールドとする多様な音楽表現までをカバーすることです。現代の子どもたちの音楽との接点に着目し、その延長に実感をともなう音楽大学としての学びを提供することが本学の未来像と考えます。



また、高齢化社会の到来を受け、学び直しの場としての大学の役割も考えられます。学生時代の専攻とは違う楽器や声楽などにチャレンジしたり、音楽療法や音楽教育の最新を学んだりすることで、生涯にわたって音楽を学ぶことは意味あることではないでしょうか。札幌大谷大学は、社会の多様性に応えられる大学でありたいとも考えます。

こうした取り組みは簡単なものではないかもしれませんが、同窓会の皆さまからのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



社会学部学部長
地域社会科学科長

和田 佳子

卒業生の皆様、いつも学科へのあたたかい応援とご協力を頂きありがとうございます。学科開設から十三年が経過し、この間、教員の顔ぶれも随分と変わってきました。今回は、近年着任した学科専任のニューフェイスの先生方をご紹介します。

本学科では二三年度から、社会学を基盤に、行政・法律、経済・経営、教育・福祉、観光・メディアといった緩やかな四つのモデルコースを設けています。法律分野の科目を一手に担当してくださっているのは、元行政書士の津幡笑先生。お着物がよく似合う、茶道部の顧問でもあります。二三年度に着任したのは、カルチュラル・スタディーズ（社会学）を専門とする三六歳の准教授、広島県出身の仙波希望先生。学生たちの頼れるアニキ的存在です。また、日本語・文学分野を担当される上戸理恵先生は、五歳児のママであり、学生たちからも「優しいママ」と慕われています。

今年度着任されたのは、教職科目担

当の加藤裕明先生と、比較社会学が専門の金昌震（キム・チャンジン）先生のお二人です。加藤先生は安平町などの地域をフィールドに教育コミュニケーションを研究され、演劇人としても活躍された方です。韓国出身の金先生は、K-ポップや韓流アイドル好きの学生たちから大変人気があります。

これまでも増して、毎週、どのゼミ室からも賑やかな笑い声が聞こえてきます。こんな学科のニューフェイスの先生方と一緒に、もう一度大学に戻って学んでみたいと思われたことでしょうか。オールドフェイス（っ）も健在ですので、ぜひお時間を見つけて懐かしのキャンパスに気軽に足を運んでみてください。学科教員一同、卒業生の皆様のご健勝とご活躍をいつも願いながら、諸々の近況報告を心待ちにしております。



短期大学部学部長
保育科学科長

田中 住幸

同窓会の皆様には、平素は格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。三月の学位記授与式、修了証書授与式を迎え、短期大学部保育科は八十四名、専攻科保育専攻は二十一名の者が卒業・修了致しました。進学をした者十六名を除く就職率は一〇〇%で、就職状況は非常に良好な状況が続いております。「ぜひ、札幌大谷出身の学生に就職してほしい！」と、多くの園や、施設から声をかけていただくことが多いことが、良好な就職状況を保っている要因であると考えております。このことは、本学保育科OG・OBの皆さんが、卒業後、各地の園や施設で活躍いただく中で、連綿と積み上げてこれられた本学に対する保育現場からの信頼の表れでないかと感じております。

いっぽうで、全国的に短期大学や、保育系学科への進学希望者が減少し、保育者養成校への入学希望者（言い換えれば未来の保育者）の確保に、各校とも苦戦する状況が続いております。本学も例外ではありません。保育者養成校の集まりの中では、高校生はさる

ことながら、中学生など、より若い世代に向けて、保育に関心を持つてもらえるような取り組みが必要だと話しております。保育の仕事は、子どもたちの命を預かり、成長を見守る責任ある仕事ですから、もちろん大変なこともたくさんあります。しかし、子どもたちの笑顔のすぐそばで、その成長を共に喜ぶことができるやりがいのある仕事でもあります。「子どもっておもしろい！」そんな素朴な気持ちを胸に、保育者を志す若い世代を増やしていきたいと思っています。また、これからも確かな理論と技術、豊かな実践経験、そして愛情あふれる子どもたちへの想いを持った保育者を育てていくことができる保育科であり続けたいと思います。変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。



釧路支部



「新たに」

支部長 有岡 和美

音楽科32期

この度、釧路支部支部長を務めさせていただくことになりました。初めて同窓会だよりに寄稿させていただきます。

釧路支部は五月に支部総会を行いました。今年は役員改選があり、支部長をはじめ役員が一新。新しい同窓生もお迎えし、和やかな時間を過ごしました。新役員一同初めての事ばかりで大変微力ではありますが、会員の皆さんと一緒に力を合わせ盛り立てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

七月十五日には、釧路芸術館で山神壮平さん（音楽学科三期）が伴奏を務めるフルートリサイタルがひらかれました。山神さんは現在ハンガリーを拠点にヨーロッパと日本で活躍されており、地元釧路では昨年に続き二回目の公演となります。フルートとともに響き渡る素晴らしい音色のピアノ、お二人に会場から惜しみない拍手が送られました。

また七月二十一日には、合唱祭に参加しました。今年は釧路合唱連盟創立五十周年記念演奏会で、各団体のステージ発表と一三〇名での合同混声合唱も行われ、普段女声合唱で活動している私達にとって思い出深いステージとなりました。

今まさに移ろう時代に何が出来るのか、人と人との繋がりをもう一度強固なものに出来るのか、その模索こそがこれからの支部活動の主軸と感じます。

会員皆で、地方釧路から何かしら発信ができるような活動ができればと思っています。

十勝支部



「真夏の夕風」

支部長 植松 恵

音楽科13期

年ごとに夏の暑さが厳しくなり、十勝は特に道内でも日々の気温が高く、今年の夏の暑さは身体にこたえます。ですが、日が沈むとさわやかな夕風が吹き、ほっとすることもある今日この頃です。このお便りが皆さんに届くころは、過ぎしやすい季節になっていることと思います。

十勝支部は、遅ればせながら先日支部総会を開催いたしました。出席で戻るハガキがほとんど無い中、役員で声掛けをして数人の方に出席して頂きました。少ない人数ではありましたが、役員をされた会員からの貴重なご意見もいただき、有意義に終えることができました。十勝支部では、二〇二二年度に一年遅れの周年行事を行いました。二〇二六年度は支部設立二十周年となります。コロナも十一波が来ると報道されていますが、五類になった事もあり、会員が発表できる内容にしていこうと今年度内に具体的な内容を確認したいと思っています。

会員の支部活動への参加はもちろん役員の選出についても頭を悩ますことではありますが、やはり一人一人への声掛けが大事だと実感しております。

支部が釧路支部と十勝支部の二つだけとなり寂しい限りですが、同窓会活動がより活発になるように願っています。

同窓会ギャラリー

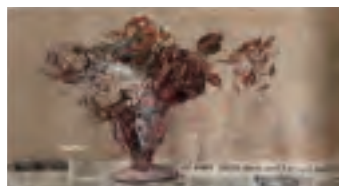
本学食堂に展示



黒い花びら



April



グラスのバラ



好日



星待つ花

中田やよひ（短美9）

「これからの時代を

生きるために必要な力」



太田 真理

保育科34期

保育科を卒業して三十年があつという間に過ぎました。その間、子どもたちを取り巻く環境は変化し、幼稚園と保育所のほかに認定こども園が出来、私たち保育者の役割も変わってきました。保育職は大変……というイメージを持たれている方も多いかもしれません。

近年、「子どもの主体性を育てる」という言葉を良く耳にします。それは、AIなどの革新的な技術と人の暮らしが融合する社会の中で「自分らしく自信を持って生きていく力」がより必要になってきたからだと思っています。それぞれの保育施設では、そのような力を“遊び”を通して育んでいます。

そして、そのような子どもたちを育てるために保育者も主体的である事が求められています。

保育科学生時代に「ふりてい劇場」の公演を行うにあたって、ミュージカルを作り上げた経験と、主体性を育てるために子どもたちが遊びの中で行っているプロジェクト活動は同じであると今思い返してみても実感します。他者と目的を共有し、考えを発信し合い、様々な問題や課題を仲間と試行錯誤しながら解決していく営みは、園で子どもたちが行っている事と同じです。そしてそれは、自分らしく自信を持って社会に出るために二十歳になりたての私たちにとっても必要な経験だったと思うのです。

保育職は人を育てる仕事です。AIが代わりに担える仕事ではありません。この仕事のやりがいや魅力を様々な形で発信していきたいと思っています。

「縁を大切に」



小泉 由華

音楽学科5期

私は大学を卒業した後、音楽事務所で演奏活動をしながらステージマネージャーとして務めました。その中で、

とある中学の吹奏楽部外部コーチとして指揮をする機会があり、今の高校で働くことになりました。さまざまな出会いのおかげで、演奏家とは違う形で音楽が再び自分の人生に戻ってきました。音楽に向き合うことは時に辛く、逃げ出したくなることもありましたが、すべての経験が今の自分に繋がっていると実感します。

大学を卒業して一番の変化は、演奏者から指導者への転身です。今は市内の高校で音楽教諭兼吹奏楽部の顧問をしています。技術指導だけでなく、部

活の運営が極めて大変です。音楽を平和に楽しめる環境を作るのは簡単ではありません。しかし、それを乗り越えた先には言葉にできない感動があります。吹奏楽部で三年間頑張った生徒たちが卒業する姿を見るたびに、ほっとする気持ちと同時に、また頑張ろうと思えます。若い芽を育て、音楽の素晴らしさを伝えることは、自分にとって大きなやりがいです。

音楽は感情やメッセージを伝える手段であり、その魅力を次の世代に伝えることが、音楽の未来を切り拓くことだと感じます。そして自分が選んだ音楽の道でこのように繋いでくださったご縁に日々感謝し、大切にしていきたいです。

音楽の素晴らしさを少しでも伝えられる指導者になれるよう、これからも生徒と共に日々努力していきます。

「大学での経験がもたらした 新しい視点と挑戦」



大橋 鉄郎
美術学科1期

現在、私は美術の中でも特に現代美術の分野で活動しています。これは大学入学時には全く想像すらできなかったことです。

大学受験の際、映像やアニメーションを学びたいと考え、当時札幌大谷大学に新設されたメディアアートコースに進学を決めました。しかし、そこで出会った先生方は写真や映像はもちろん、サウンドやプログラミングを用いた活動も行っており、私の作品の考え方の幅を広げてくれました。先生方は学外での展覧会なども精力的に行っており、その手伝いをさせてもらう中で、展覧会やギャラリーで作品を発表する手法やその重要性を体験しながら学びました。

現在は主にデジタルツールを用いて、立体、平面、映像、インスタレー

ションなど幅広い作品制作をしています。また、最近では札幌市内の工場跡地を借りて現代美術の展覧会を企画するなど、さらに広がりのある表現活動を行っています。こうした活動の基礎は、大学で先生方の制作や展覧会を間近で見られたからこそ培われたものです。近年、大学の活動は企画展や成果展などを積極的に行っており、私が在学していた頃以上に学外に向けて開かれていると感じています。そんな環境で学ぶ学生たちの活躍を楽しみにしつつ、私も先生方のように学生の目標や刺激になるような作家を目指して、変化を恐れず日々精進していきたいです。



「チャンスは一瞬、努力は一生」



牧野 友洋
地域社会学科7期

私は社会学部地域社会学科を卒業し、金融機関職員として三年目を迎えました。経済学部がある大学ではありませんでしたが、専門ゼミで経済学の視点から学ぶことができる平岡ゼミがあることが札幌大谷大学に入学した決め手でした。大学入学以前から金融業に興味があり、地域社会学科で学んだ地域との関わり方を存分に活かすことができる北海道労働金庫に勤務しています。

正直、就職して三年目になりますが、まだまだ新人の気持ちが抜けきれていないのが課題です。直属の上司に指導頂いた時に響いた言葉が「チャンスは一瞬、努力は一生」です。金融機関というものは正確な情報をお客様に伝える必要があります。そこで曖昧な回答をしてしまうと一気に信用を失ってし

まったり、トラブルを招くことになります。一度信用を失ってしまうと挽回するのは中々難しいです。曖昧な回答をしないためにも、日々の業務復習や資格取得に向けた学習などに取り組み正しい知識を身につけ、何年目になっても努力を怠らない姿勢を持ちたいと思います。



同窓会設立 60 周年記念祝賀会

令和 5 年 8 月 11 日(金・祝) ホテル札幌ガーデンパレス



実行委員の皆さま

保育科



音楽学科



美術学科

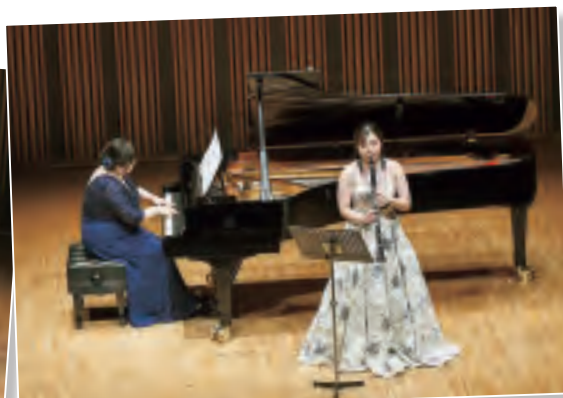


地域社会学科



札幌大谷大学同窓会設立 60 周年記念 第 44 回谷の音会コンサート

令和 5 年 11 月 23 日（木・祝） キタラ小ホール



会費の納入方法について

※平成 26 年度より
改正になりました

【平成 26 年 4 月 1 日入学生から】

終身会費 20,000 円は納入済みですので、今後納入していただく会費はありません。

振込用紙の金額欄は「*****」となっています。

【平成 25 年度以前の卒業生】

会費納入について ① ②のどちらかを選択してください。

① 終身会費 20,000 円を納入

振込用紙の金額欄に 20,000 円とご記入の上、納入してください。

一度納入していただいた方の振込用紙の金額欄は「*****」となっていますので、終身会費の再度の納入、年会費 1,000 円の納入の必要はありません。

② 年会費 1,000 円を毎年納入

振込用紙の金額欄に 1,000 円とご記入の上、納入してください。

複数年分を一度に納入して次年度以降の会費とすることはできません。

複数年分を納入していただいても返金することはできませんので、ご注意ください。

振込用紙は、同窓会日より郵送時の宛先を兼ねております。

そのため、平成 26 年 4 月以降に入学された方および終身会費を納入いただいた方にも同封されます。

すでに終身会費を納入していただいた方には、振込用紙の金額欄に「*****」と記載されております。今後会費を納入していただく必要はありません。

※電信振込の方は備考欄に学科と期をご記入ください。

同窓会の会計は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを今年度とします。

会費を納入される際は、納入時期にご注意ください。

例) 10 月 1 日に 1,000 円を納入、翌年 1 月 31 日に 1,000 円を納入の場合、同じ年度に 2 度納入していただいたことになります。次年度分として取り扱うことはできませんので、納入時期にご注意ください。

住所・氏名等 変更申込手続きについて

住所・氏名等に変更がございましたら、こちらの QR コードを読み込んでいただき、住所変更等申込フォームに必須事項をご入力ください。

入力後は「確認画面に進む」ボタンを押していただければ登録作業は完了となります。



同窓生数

同窓生数計 15,820 名

保 育 科 5,816 名
(専攻生含む)

芸術学部音楽学科 5,507 名
(旧音楽科、音楽学部、芸術学部、研究生含む)

芸術学部美術学科 4,070 名
(旧美術科、芸術学部、専攻生含む)

社会学部地域社会学科 427 名

訃報
藤田宏達元学長(享年95歳)
2023年9月17日 逝去
謹んでお悔やみ申し上げます。

2024年度(令和6年)
事業並びに活動予定
2024年(令和6年)
4月8日 大学・短期大学部入学式
会長出席(祝花を贈る)
6月2日 令和6年度総会
9月下旬 第48号同窓会日より発行
10月13日 キッズフェスティバル
2025年(令和7年)
3月15日 大学・短期大学部卒業式
出席予定

2024 年 キッズフェスティバル

札幌大谷大学大学祭も同時開催いたします。
お子さん、お孫さんと一緒に是非遊びにいらして
ください!!

日 時 2024 年 10 月 13 日 (日)
11 : 00 ~ 16 : 30

会 場 札幌大谷大学 C 棟 324 教室 (大教室)

お問い合わせ 札幌大谷大学同窓会
ootanisinsinkai@gmail.com



令和 5 年度 (2023 年度) 収支決算書 (2023年4月1日~2024年3月31日)

収 入 13,103,602円 札幌大谷大学同窓会真心会
支 出 6,684,878円
差引残高 6,418,724円 (翌年度繰越金)

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
入 会 金	0	1,730,000	△1,730,000	大学 146名 短期大学部 27名
会 費	5,630,000	6,761,000	△1,131,000	大学 216名 (4,320,000円) 短期大学部 90名 (1,800,000円) 卒業生 641,000円
雑 収 入	0	411,076	△411,076	コンサートチケット売上代 谷の会展出品料 預金利息
前 年 度 繰 越 金	4,201,526	4,201,526	0	
合 計	9,831,526	13,103,602	△3,272,076	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
同窓会便り発行費	500,000	446,468	53,532	第47号印刷費(7,300部)
同窓会便り発送費	900,000	655,368	244,632	// 発送費(6,972通)
消 耗 品 費	120,000	14,899	105,101	事務用品・衛生用品・プリンター・インク代等
活 動 費	300,000	159,200	140,800	役員活動費・交通費
通 信 ・ 連 絡 費	250,000	149,726	100,274	総会案内、資料等発送費、電話代
印 刷 費	300,000	201,766	98,234	払込票、封筒、総会案内宛先印刷代、コピー代
会 議 費	300,000	92,537	207,463	総会、役員会等費用
慶 弔 費	200,000	159,460	40,540	各学部イベント及び卒業式祝花・香典など
補 助 費	500,000	140,000	360,000	各支部会費加算費
デ ー タ 管 理 費	150,000	110,000	40,000	名簿データベースメンテナンス
卒 業 記 念 品	350,000	310,000	40,000	卒業記念品
支 部 関 連 費	300,000	20,410	279,590	支部会議・交通・宿泊費等
行 事 費	1,500,000	592,487	907,513	谷の会展諸経費、谷の音会コンサート関連諸経費
備 品 費	100,000	26,792	73,208	プリンター購入
雑 費	2,061,526	105,013	1,956,513	終身会費重複納入者返金、振込手数料、その他
積 立 金	2,000,000	2,000,000	0	
60周年記念祝賀会	0	1,500,752	△1,500,752	60周年記念祝賀会関連経費
合 計	9,831,526	6,684,878	3,146,648	

編集後記

今年の同窓会だよりはページ
数を増やして六十周年記念祝賀
会の様子をお届けしました。
ご覧いただけますと幸いです。

オホーツク支部は二〇二四年を
もちまして廃止いたしました。

名誉会長	千 葉 潤 (学 長)
役 員	
会 長	小 原 明 美 (短音14期)
副会長	佐 藤 潤 子 (短音12期)
会 計	山 口 由 美 (保19期)
会 計	森 谷 直 美 (短音33期)
書 記	長 尾 愛 (保29期)
書 記	今 野 くる 美 (短音33期)
書 記	笹 木 詩 穂 (大英2期)
書 記	川 原 田 凌 (社3期)
会計監査	佐 武 美 香 (保24期)
会計監査	佐 藤 和 華 (短音35期)
支部長	
釧路支部長	有 岡 和 美 (短音32期)
十勝支部長	植 松 恵 (短音13期)

令和 6 年度真心会本部